やんばるにおける地域参加型フェノロジー調査の市民調査力と気候変動アクションが取れる人材の育成

つづける助成
1年目
調査研究

活動地域　沖縄県

フェノロジー調査の実施	48回
活動の発信（HP・SNS）	33回
今年度計画の達成度	45%
全体計画の達成度	30%

地域住民によるフェノロジー調査の様子

課　題

現存するやんばるの生物季節暦は1990年代のもので、最新のデータが求められている。また世界自然遺産登録を機に、地域が主体となったやんばるの保全が求められている。

目　標

地域住民が主体となって、3年間で①計144回分の調査データが得られる。②記録したデータと過去のデータを比較・考察することができる人材が延べ5人養成される。

活動内容と成果

地域住民参加型のフェノロジー（生物季節暦）調査を行った。1コースにつき昼と夜を1セットとし、週に1回程度の調査を計48回実施することができた。調査に関わる地域住民が生き物の識別や季節ごとの注目種、調査方法の知識・スキル向上を目的に、講習会を年に2回開催した。
これらの調査結果の成果として、広報誌の発行やHP・SNS等での発信、フェノロジーカレンダーを作製した。また気候変動に関する基礎知識を理解するため、沖縄気象台の地球温暖化情報官を講師に招聘し、地域行政とセミナーを共催した。

講習会の様子

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

上半期は特に新型コロナウイルスの影響により、対面での講習会や調査指導の実施が難しかった。

■工夫した点

対面で会うのが難しい期間は、メール等で調査で特に注目してもらう種等をお知らせして進めた。

今後の展望

フェノロジーの調査は継続性が重要である。今後も調査に関わる人の裾野を広げながら仲間を増やし、地道に調査データを積み重ね、気候変動の影響評価につながる基礎データにつなげていきたい。

〒905-1411
沖縄県国頭郡国頭村字辺土名272番地
E-mail：info@yambaruvision.org
HP：https://yambaruvision.org/